

PRT・PMT型用生地搬送ベルト交換方法

作業を行う前に必ず機械のコンセントを抜いて下さい。また、危険防止のため軍手を着用して下さい。

(写真では解説の為、素手で作業を行っております)

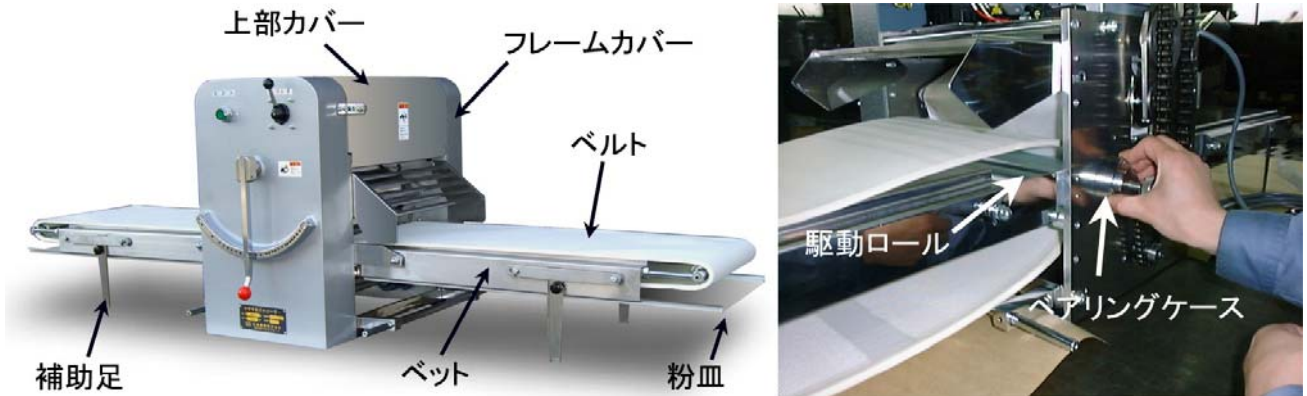
写真はPMT型ですが、PRT型も作業工程は同じです。

ベルト交換作業中は怪我をしないよう十分にご注意下さい。また、交換作業に自信の無い場合または、危険と感じる場合には専門業者にご依頼下さい。

この作業に使用する工具類

軍手
六角レンチ

各部名称



交換手順



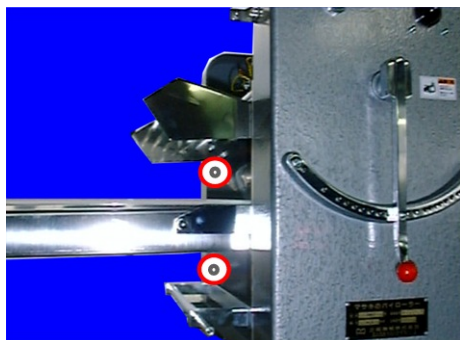
1. 機械が停止していること、コンセントを抜いてあることを確認の後、上部カバーを外します。上部カバーはPRT型は固定しているネジをはずして下さい。PMT型は下側を広げながら上に上げれば外れます。

また、ベルトの張り調整を十分に緩め、粉皿は抜き取っておいて下さい。

また、ベルトが切れる丈夫なハサミなどがある場合は、この時点で交換する古いベルトを切って外してしまえば、ベット(テーブル)を外すと後の作業が楽になります。

(ベットのはずし方は工程5及び6参照)

ベルトはとても丈夫で、裏に1センチほどのゴムの帯もあるので難しい場合はベルトを切らずに次の工程にお進みください。



2 後ろ側のフレームカバーを止めているボルト左右2本ずつ、計4本(写真の○の位置にあります)を外します。ボルトを全て外しますとカバーが倒れる、または落下する恐れがありますので、カバーを押さえながら作業をして下さい。



3.ベアリングケースを外します。キャップボルト3本で固定されています。
ベアリングケースが外れたらベットを跳ね上げた状態にします。



ベットを跳ね上げた状態



4.駆動ロール（ベルトを回している軸）を外します。ベアリングカバーを外した穴に駆動ロールの先端を通すようにはせず、メインロールから遠ざける方向（写真では手前方向）に抜き取ります。

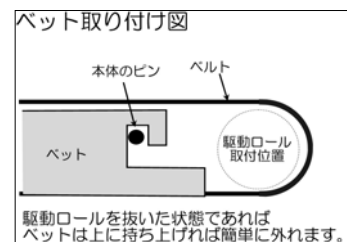
駆動ロールが抜け難い場合は、ロールを少し揺すり先端を抜くようにします。駆動ロールの先端が抜けたのに上手くとれない場合は、ベルトの裏のゴムが駆動ロールに当たってないかを確認して下さい。

狭い場所に手を入れ込んで作業するので、怪我をされないように注意して作業を進めて下さい。

写真は解説のためベット・ベルトは外してあります。



5.駆動ロールを外したら、ベルトと一緒にベット（テーブル）を外します。



6.ベットを立てて置き、ベルトを外します。補助足などにベルトや手を引っ掛けないようにご注意下さい。

ベットを掃除した後に、新しいベルトに交換します。

取付は逆の手順で行って下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい

マサキ
正城機械株式会社
 TEL 048(974)3121(代)
 FAX 048(975)8576
<http://www.masakikikai.com>